

# 2018-19年度ライオン誌日本語版委員会 第7回会議 報告書

日 時：2019年1月9日(水) 13:30～16:30

場 所：一般社団法人 日本ライオンズ 事務所

出席者：国際理事 佐藤 義雄 (長野県・戸倉上山田ライオンズクラブ)

委員長 矢野 敏明 (336複合地区／島根県・松江葵ライオンズクラブ)

編集長 稲岡 敬弘 (332複合地区／秋田ライオンズクラブ)

委員 渡辺 和廣 (330複合地区／山梨県・甲府シティ ライオンズクラブ)

委員 渡辺 修 (331複合地区／北海道・美唄ライオンズクラブ)

委員 渡邊 信也 (333複合地区／新潟県・亀田ライオンズクラブ)

委員 西川 恒彦 (334複合地区／静岡県・富士宮ライオンズクラブ)

委員 神 崎 守 (335複合地区／京都やわたライオンズクラブ)

委員 椿 幸 雄 (337複合地区／熊本火の国ライオンズクラブ)

一般社団法人専務理事 高橋 克文 (千葉県・船橋翼ライオンズクラブ)

一般社団法人理事 太田 健一 (336複合地区議長／岡山県・総社雪舟ライオンズクラブ)

ITアドバイザー 荘 英 隆 (東京恵比寿ライオンズクラブ)

ITアドバイザー 小柴 登司 (337複合地区／沖縄県・浦添ウエスト ライオンズクラブ)

欠席者：国際理事 安澤 莊一 (福島県・白河小峰ライオンズクラブ)

ITアドバイザー 辰巳 博昭 (兵庫県・神戸須磨ライオンズクラブ)



矢野委員長の開会あいさつに続いて、佐藤国際理事からあいさつと国際関係報告、日本ライオンズ高橋専務理事と太田理事のあいさつがあり、その後、矢野委員長、稲岡編集長の進行で議事に入った。

## 【議事】

### 1. ライオン誌日本語版の運営 (別紙-月次決算報告)

2018年11月度の収支計算書を元に会計担当者から説明があった。11月は本誌の発行がなく、紙媒体発行に関わる印刷費は発生していないこと、また発送関係でもライオン誌送料の収支計上はなく、掲載誌発送費と取材費など月をまたいだ直接出版費関連支出が若干あったことが説明された。その結果、11月度は約365万円の黒字となり、累計では9,909,235円の収支差額が出ている。※一般社団法人理事会旅費や借室料など、年度末精算の予算額を差し引いた収支は約450万円の黒字。

### 2. 本誌関係

#### ●2019年1・2月号 (2018年12月20日発行／92,300部) 出来

1・2月号の出来を確認。前回会議時に指摘のあった点は全て修正しており、表4を提供している広島フォーラムPR広告に関しては日程や会場などの情報を加えて頂くよう、フォーラム組織委員会に依頼していることが報告された。また発行後、読者から指摘のあった文言の表記について委員会で検討、狭義には読者の指摘通りだが、広義には指摘以外の意味もあり、

またライオンズクラブで慣用的に使われているものなので、特に問題はないことを確認した。

#### ●2019年3・4月号（2019年2月20日発行）台割案

特集は「小さな町のライオンズ」（稲岡編集長提案）で、331複合地区の渡辺委員から推薦のあったクラブを取材する他、矢野委員長から推薦のあったクラブを含む4クラブから情報の提供を受け、記事をまとめる。表紙は特集で取材するクラブの写真で構成する。この号に国際平和ポスター・コンテストの各複合地区最優秀作品を掲載する。「国際理事だより：安澤 荘一国際理事」、「編集室：渡辺修委員」。

中村泰久元国際理事から、1月13～17日に実施する国際本部スタディツアーの参加記掲載依頼があり、検討の結果、ウェブマガジンと本誌の2媒体体制となって以降の記事扱いにならない、ウェブマガジンのニュースに全文を、本誌3・4月号インフォメーション欄に抜粋記事を掲載することを承認した。これに関連して高橋専務理事から、2月12～14日に実施される第1副地区ガバナー／地区ガバナーエレクト・セミナーの扱いについて質問があった。同セミナーの2月開催は初の試みで内容等について未知の部分があるため、グループリーダーと相談しながら進めるが、基本的にはウェブマガジン「ニュース」で全文、本誌（5・6月号）インフォメーション欄に抜粋記事掲載という扱いを想定しておくこととする。

### 3. ウェブマガジン関係

#### ●2019年1月号（1月1日更新）出来

1月1日更新のウェブマガジン1月号の出来を確認した。公開日が元日となったが、現在のウェブマガジンは公開予約が可能のため、1月1日0時から0時5分までに記事を順に公開することが出来た。自動化されていないもののうち「更新情報」は元日にデータを入れ替え手動で更新したが、メールニュースについては始業日の1月7日に送信したことが報告された。

#### ●2019年2月号以降台割案

2月号から4月号の主要コンテンツについて、内容と取材経費が提出され、承認された。

#### ●情報資料コンテンツの更新

11月1日の国際協会公式サイトのリニューアル後、ウェブマガジンの「情報資料」コンテンツ内の本部関係リンクがほとんど消滅した。これを受け、稲岡編集長が新サイトの構造を確認したところ、HTMLやPHPなどのページそのものが存在しないものも多く、前回会議では国際協会やLCIF関係のリンク取得は困難と判断し、同コンテンツの内容を整理しライオン誌でコントロール可能な資料のみの掲載に変更した。

が、その後、稲岡編集長が再度、新サイトを検証したところ、公開時から少しずつページが加わっていることが分かり、いくつかの情報についてはリンク・ページを特定することが出来た。複合地区事務局など関係各所に照会したところ、本部サイトは分かりづらいため「情報資料」コンテンツのリンク集を重宝していたとの声があり、改めてリンク集を作ることが提案された。これに対し、小柴ITアドバイザーから、今回のリニューアルで起きたようにページがいつまで継続するか不確定な上、国際協会公式サイト自体がまだ構築途中と思われること、更に日本ライオンズ理事会が計画しているホームページのコンテンツとのすみ分けなど、いくつか考慮すべき点があることが指摘された。

それらを踏まえ、当面、情報を絞ってリンク集を「情報資料」の中に入れ、日本ライオンズのホームページの内容が確定した時点でコンテンツの整理・統合などを検討する。

### 4. 主要記事予定

#### ●2018-19年度主要記事予定

現在まで決まっている主要記事予定を確認した。そのうち11月に開催される広島フォーラムのPR記事について、前回会議後、組織委員会の寺越愼一委員長と相談。その結果、フォーラムの内容と共に、広島についての紹介記事掲載の要望があった。既に特集企画も決まっていることから、5・6月号でフォーラムの内容、7・8月号で広島の記事を作成することになった。また、熊本地震に関しては最終の事業完了後に取材をし、7・8月号掲載を予定する。

●2018年12月取材経費

12月に実施した取材の経費精算額一覧が提出され、確認をした。

●2019年1～2019年3月取材経費概算

1月から3月にかけての取材経費概算が提出され、取材日未定の2件を除き取材を承認した。

## 5. ライオン誌日本語版の方向性

前回会議で矢野委員長から提案された通り、ライオン誌の方向性に関する集中審議を行った。今回の会議では、主に以下の点が指摘され、次回会議で委員会としての見解をまとめることとする。

- ライオン誌公式版に関しては、国際理事会方針書に明確な規定がある。目的は「国際協会の方針及び活動に関して参考になる情報を個々のライオンズに伝えること」「優れた奉仕をするよう会員を意欲づけること」「協会プログラムを非ライオンズに示すこと」であり、基本的に現行のウェブマガジン及び本誌はそれに沿って編集している。また、これに加えて日本ライオンズとしての動きや情報をウェブマガジンのニュースと本誌インフォメーションで伝えているが、現在、メインの媒体と位置づけているウェブマガジンの閲覧数が少なく、日本ライオンズの活動が一般の会員まで浸透していないのが現状であり、ライオン誌をいかに活用してもらうかが最大の課題。
- 委員会構成や経費、剰余金についても国際理事会方針書に規定されており、それを逸脱することは出来ない。一方、ライオン誌日本語版委員会も一般社団法人日本ライオンズの一委員会であり、今後、その位置付けの中で日本ライオンズと調整しながら、理事会方針との整合性を図っていくことが重要。
- 日本は人口減少社会となり、ライオンズクラブにおいても会員減少になかなか歯止めがかからない状態となっている。ライオン誌委員会としては与えられた収入の中で最良のものを作っていくことが使命だが、10年後、20年後の収入減まで見据えて検討することも必要ではないか。
- ライオン誌は将来的に、国際本部の方針に従って完全ペーパーレスになることが予想される。その中でウェブマガジンは、一般社団法人日本ライオンズが計画しているホームページと共に、日本のライオンズクラブにとって有効な媒体となるよう、日本ライオンズ理事会と連携してコンテンツのすり合わせを行うことが必要。

閉会あいさつ 矢野敏明委員長

### 【次回以降委員会開催予定】

2月6日(水)	13:30～16:00	第8回会議	日本ライオンズ事務所
3月6日(水)	13:30～16:00	第9回会議	日本ライオンズ事務所